

2026 年度

第2号

7月 3日 発行

自分一人でできることをふやし はたらきたいを育てます

さかたく進路だより



高等部 現場実習・校内実習について



高等部では、卒業後の進路決定に向けた取り組みとして、第1期現場・校内実習を6/1（月）～12（金）の10日間実施しました。本校高等部では、以下の流れで1年生から校内実習を実施し、2年生の第3期で初めて現場実習を実施します。2年生の第3期、3年生の第1期で希望する進路先での実習を行い、3年生の2期では卒業後の受け入れを見据えた現場実習を実施し、進路決定をします。

	第1期	第2期	第3期
1年生	校内実習①	校内実習②	校内実習③
2年生	校内実習④	校内実習⑤	現場実習 【進路選択①】
3年生	現場実習 【進路選択②】	現場実習 【進路決定】	（現場実習） ※実習先からの依頼、就労選択支援等の生徒のみ

今回の現場・校内実習は、1年生にとっては初めての経験となる校内実習、2年生にとっては回を重ねて自分の課題と向き合う校内実習、3年生にとっては進路選択のひとつとして次の進路決定となる第2期現場実習に向けての大切な実習となりました。それぞれの場所で、生徒たちは「働くこと」の厳しさと喜びを肌で感じ、大きく成長した姿を見せてくれました。

第1期 校内実習の様子…



本校の校内実習では、企業の方々からご協力を得て、部材を借用し実習を行っています。実際に商品となるものを使って実習を行うことで、より商品を大切に扱ったり、緊張感をもって作業に取り組んだりすることができています。ご協力いただいている企業の皆様におかれましては、本校への教育活動にご協力をいただきまして感謝申し上げます。

<総合サービス班> （株）HERO'S様より部材を借用しました。作業の正確さはもちろん、いつでも見学、質問OKとしたことで、見学者の方との交流をとおしてコミュニケーション力を高めることができました。	<外注班> （株）リネックス様、中央労働金庫（ろうきん）様より部材を借用しました。報告の仕方やわからないことを聞く態度が身に付き、実習最終日には成長した姿を見せてくれました。
<リサイクル班> コマツ様より部材を借用しました。色や形の分別作業では、細かな違いを見逃すことなく分けることができました。立ち仕事にも挑戦する生徒もあり、意欲的に取り組むことができました。	<軽作業班> ボールペンの組み立てや解体の作業に取り組みました。一定時間落ち着いて作業に取り組めるよう、目標や時間を決めて活動しました。日を追うごとに作業に集中できる時間が増え、落ち着いて活動できました。

報告会では、できたことや自分の課題を振り返り、これからの学校生活で頑張ることをしっかりと発表することができました。以下は、報告会で生徒から多く挙げられていたものです。



挨拶、返事、報告、時間を守る、相談をする、わからないことを聞く、
気持ちの切り替え、体力をつける、体調管理 など



これらは将来働くために大切なことです。『継続は力なり』ということわざのように、コツコツと継続して努力をし、なりたい自分を目指して、小学部、中学部、高等部それぞれの学部で努力し続けていってほしいと思います。

→裏面もあります

第1期 現場実習から感じたこと…



高等部卒業後の進路は、生徒の実態に応じて大きく2つ「福祉的就労（福祉施設で福祉サービス等を受けながら働く）」と「一般就労（企業で働く）」になります。表面にもあるとおり、進路決定に向けての取り組みとして、高等部2年生の1月（第3期）から現場実習を実施し、高等部3年生の第2期現場実習（10月）で卒業後の進路先決定を目指します。

【福祉的就労（福祉施設で福祉サービス等を受けながら働く）】

新しい福祉施設も増えてきていますが、福祉施設によっては、以下のような理由で希望しても受け入れが困難な場合もあります。「定員を満たしている、もうすぐ定員いっぱいになりそう」「飛び出し、他害があるため、周りの利用者さんへの影響を考えると難しい」といったケースも過去にはありました。一方で「元気な挨拶で、雰囲気明るくなる」「休まず元気に来てくれる」「返事、報告がよくできる」等の嬉しい言葉もいただいています。得られた成果は今後も継続し、課題については改善していけるよう、本人、保護者、学校で協力しながら支援していければと思います。

【一般就労（企業で働く）】

生徒の実態（力）を総合的にとらえ、毎日自分で通勤できるか、企業のニーズ（作業内容、勤務時間、求めている人材など）と本人の実態が合っているか、従業員の方と仕事上のコミュニケーション（報告・連絡・相談・返事など）を図れるか、長く働き続けられるかなど、様々なことをふまえながら実習を行います。実習しても企業のニーズと本人の実態がマッチしなければ就労は難しくなります。また、企業の状況の変化（景気や人事の動向の影響）により雇用につながらない場合もありますので、福祉施設の情報収集も同時進行で進めておく必要があります。

小学部、中学部の保護者の方は、まだまだ先の話かと思われるかもしれませんが、「あっという間」というのが高等部の保護者の方からの感想で多く聞かれます。早い段階から少しずつ福祉施設の情報収集や気になる施設には連絡をして、親子で見学されることをお勧めします。今年度も 7/23（木）に「福祉施設説明会」を実施いたしますので、ぜひご参加いただき将来の進路選択の一助としてもらえればと思います。



進路情報コーナー

学校にご案内いただいた新規サービスや情報をご紹介します。
パンフレット等は高等部棟1階の進路コーナーにあります。

- 事業所名：就労選択支援事業所 ハッピーライフ茨城
（就労継続支援A型事業所結城駅前内）
就労選択支援事業所 ハッピーライフ栃木
（就労継続支援A型事業所野木駅前内）
相談支援事業所 ハッピーライフ相談
（広域で対応）

- 運営：合同会社 MIYABI/合同会社 KIZUNA

（茨城県結城市結城 13651-1 オークビル4階西側 TEL 0296-49-8184）

- その他：令和7年10月からスタートした『就労選択支援』のサービスを提供します。

